

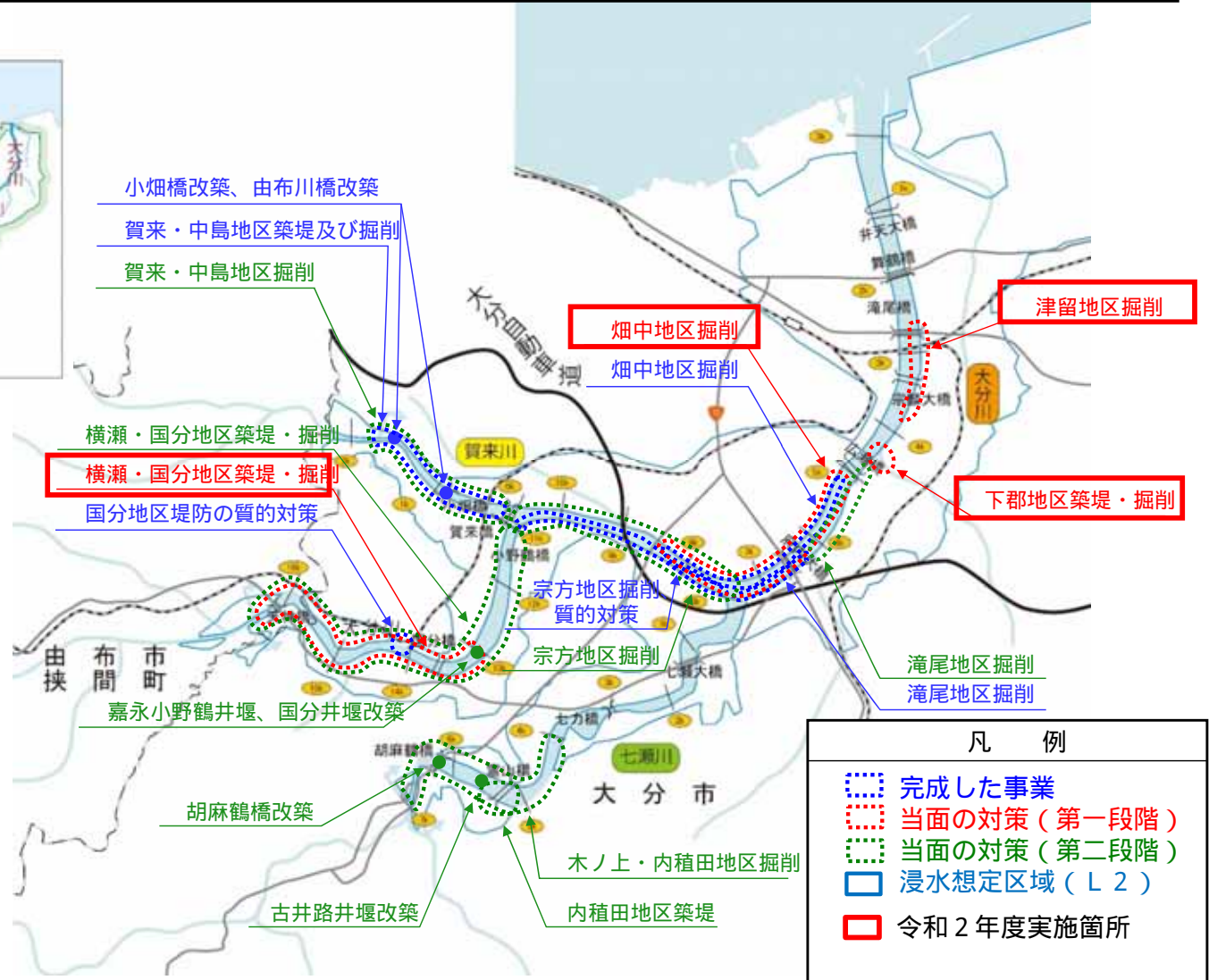
令和2年度  
大分川・大野川学識者懇談会  
〔大分川水系河川整備計画の事業進捗報告〕

令和2年12月11日

国土交通省九州地方整備局  
大分河川国道事務所

# 河川整備の進捗・実施状況【河川改修事業】

- 当面実施する河川整備(概ね5年程度)は、流下能力が低く浸水被害が発生した大分川について、築堤及び河道掘削等を実施。
- 当面実施する整備の完了後、河川整備計画において目標とする治水安全度(W=1/70)を確保することを目指して本川の下流から順次河道掘削等を実施。



実施段階	河川名	番号	箇所名
完成した事業	大分川	1	畑中地区掘削(既往最大流量対応)
		2	滝尾地区掘削(既往最大流量対応)
		3	宗方地区掘削(既往最大流量対応)、質的対策
		4	国分地区堤防の質的対策
		5	賀来川
当面の対策(第一段階)	大分川	6	小畑橋改築、由布川橋改築
		7	賀来・中島地区築堤及び掘削(既往最大流量対応)
		8	横瀬・国分地区築堤・掘削(既往最大流量対応)
		9	津留地区掘削(整備計画対応)
		10	下郡地区築堤・掘削(整備計画対応)
当面の対策(第二段階)	大分川	11	畑中地区掘削(整備計画対応)
		12	滝尾地区掘削(整備計画対応)
		13	宗方地区掘削(整備計画対応)
		14	嘉永小野鶴井堰、国分井堰改築
		15	横瀬・国分地区築堤・掘削
	七瀬川	16	内植田地区築堤
		17	木ノ上・内植田地区掘削
		18	古井路井堰改築
		19	胡麻鶴橋改築
		賀来川	賀来・中島地区掘削

凡例

- 完成した事業
- 当面の対策(第一段階)
- 当面の対策(第二段階)
- 浸水想定区域(L2)
- 令和2年度実施箇所

## 横瀬・国分地区

## 令和元年度実施箇所、令和2年度実施箇所

■ 本川中・上流部の横瀬・国分地区において、近年最大洪水である平成5年9月洪水規模の洪水を安全に流すため、流下能力が不足している区間の河道掘削・堤防整備を実施している。

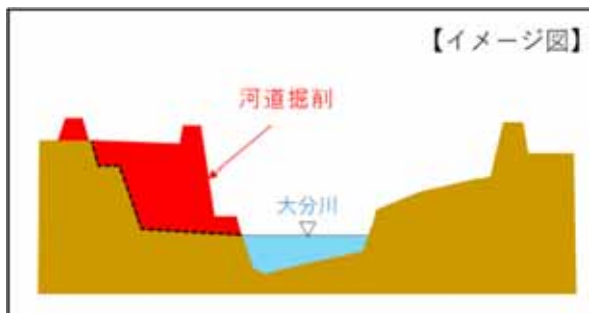
令和2年度 実施箇所 【堤防整備、河道掘削】



【施工前】 国分橋より上流



【現況】 国分橋より上流



【施工前】 国分橋より上流



【現況】 国分橋より上流

# 河川整備の進捗・実施状況【ダム事業】

- 大分川ダムは、平成29年5月にダム本体盛立が完了し、平成30年2月より試験湛水を開始。
- 引き続き、早期完成に向け、着実に事業を実施する。

## ■工事位置図



- 場所 大分県大分市（大分川水系七瀬川）
- 目的 洪水調節（大分川、七瀬川の洪水防御）  
流水の正常な機能の維持  
水道用水の供給（大分市：最大0.405m<sup>3</sup>/s）
- 諸元 ロックフィルダム  
高さ91.6m、総貯水容量2,400万m<sup>3</sup>
- 工期 昭和62年度～平成31年度
- 総事業費及び進捗状況
 

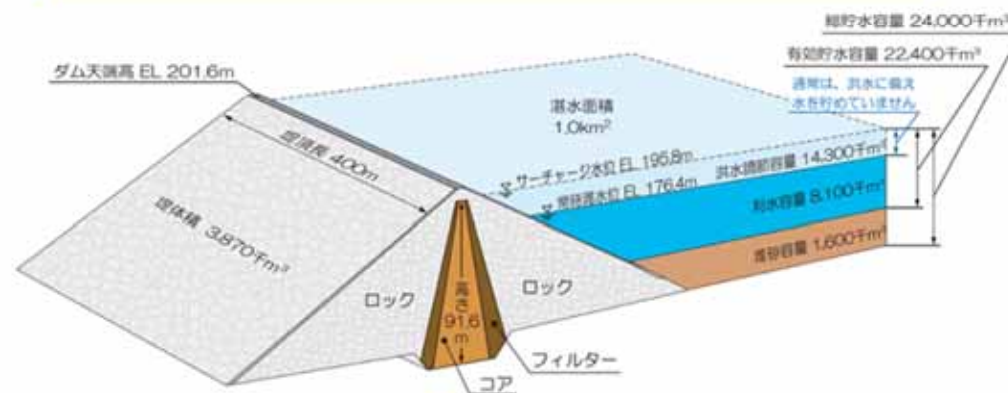
総事業費	約1,036億円
平成29年度末までの執行見込額	938.3億円
平成30年度当初予算額	55.2億円
本体工事、付替道路工事等	
平成31年度 実施計画額	42.5億円

大分川ダムの状況写真（R1.5.15撮影）



## ■大分川ダムの諸元

大分市の水需要を支え、いのちを守る九州直轄初のロックフィルダム

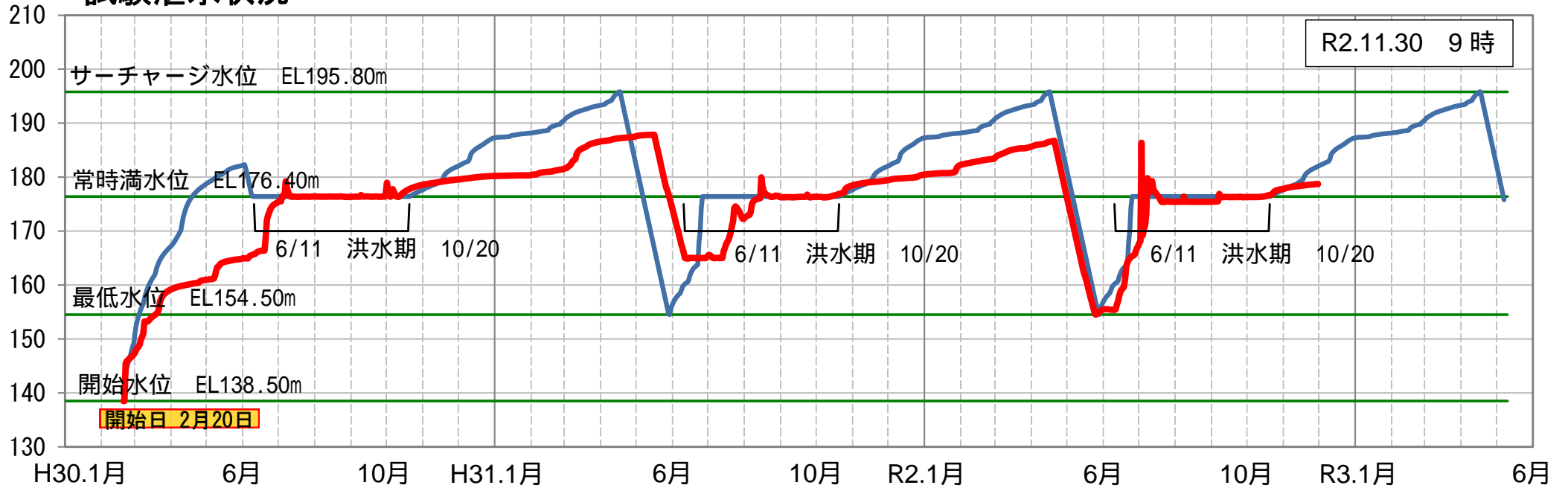


### 大分川ダム建設事業の経緯

- ・昭和45年 4月 予備調査着手
- ・昭和53年 4月 実施計画調査着手
- ・昭和62年 4月 建設事業着手
- ・昭和63年12月 大分川ダム基本計画の告示
- ・平成元年 1月 水源地域特別対策措置法に基づくダム指定
- ・平成12年 2月 大分川ダム損失補償基準協定書調印
- ・平成16年12月 漁業に関する損失補償契約
- ・平成22年 9月 ダム事業の検証に係る検討大臣指示
- ・平成24年 7月 ダム検証に係る本省の事業継続決定
- ・平成25年 1月 本体関連工事着手（ダムサイト左岸上流掘削工事）
- ・平成25年 9月 大分川ダム建設（一期）工事
- ・平成26年 2月 大分川ダム本体建設工事起工式
- ・平成27年 3月 ダム本体基礎掘削完了
- ・平成27年 9月 ダム本体盛立開始
- ・平成28年 2月 大分川ダム本体建設工事定礎式
- ・平成29年 5月 ダム本体盛立完了
- ・平成30年 2月 試験湛水開始

# 河川整備の進捗・実施状況【ダム事業】

## 試験湛水状況



貯留水位 **EL 178.71 m** サーチャージ水位まで水位上昇中  
 ダム流入量 0.31m<sup>3</sup>/s, 下流へ 0.23m<sup>3</sup>/s

## 大分川水系大分川ダムの試験湛水中の効果（令和2年7月5日～8日豪雨）

- 7月5日～8日に伴う豪雨により、大分川ダム上流域においては、333mm（7月5日17時40分～8日8時00分）の累加降雨を観測しました。
- 大分川ダムは、現在、本格運用前の試験湛水中ですが、537.5万m<sup>3</sup>（25mプール約14,930杯分）の洪水を一時的に貯留し、ダム下流の七瀬川の水位低減（胡麻鶴地点で0.60センチの水位低減）を図りました。
- 大分川ダムの完成に向け、引き続き試験湛水を着実に実施していきます。

